

平和・民主・革新の日本をめざす全国・東京の
全国革新懇
東京革新懇 mailfaxニュース

2020. 6. 16

都知事選
特別号

全国 〒151-0051 渋谷区千駄ヶ谷 1-7-8
TEL03-6447-4334 fax03-3470-1185
E-mail zenkoku@kakushinkon.org
東京 〒170-0005 豊島区南大塚 2-33-10
TEL03-3947-7901 fax03-3947-7902
E-mail tokyo@t-kakushinkon.org

全国・東京革新懇が新宿で街頭宣伝 宇都宮さんの勝利で命と暮らしを守ろう 「市民と野党の共闘」の力を発揮しよう

宇都宮さんからメッセージ

全国革新懇と東京革新懇は東京都知事選の告示を目前にした16日、新宿駅西口で共同して街頭宣伝をおこないました。暑い日差しのもと、「宇都宮けんじさんとともに 都民に寄り添う都政に変えよう」などの横断幕をかかげ、全国革新懇・東京革新懇の代表世話人がマイクを握り、参加した25人がチラシを配布し、宇都宮勝利を、と訴えました。宇都宮けんじさんからメッセージが寄せられ、今井文夫東京革新懇事務局長が紹介しました（全文は後掲）。



“観念のカベ”を打ち破ろう 牧野富夫日大名誉教授

最初に訴えたのは牧野富夫日本大学名誉教授。マスコミが流布する“小池圧勝”説について“観念のカベ”と評し、「とんでもないことだ。この4年間、小池知事は何をしてきたか素直に見よう。地べたで困っている人に手を差し伸べてきた人が宇都宮さん。こういう人こそコロナ禍のもと都政のリーダーにふさわしい」と訴えました。

“自己責任”押し付けでなく、 都民を守る宇都宮さんを

佐久間千絵新婦人東京会長

佐久間千絵新婦人東京都本部会長は、コロナ禍で苦しんでいる都民にとって大切な都知事選であるとのべ、「都民の命を託す人が小池知事であるのか。一言でいうと自己責任論の人だ」と批判、医療現場への支援が不十分であることなどを告発し、「宇都宮さんをなんとしても都知事にしたい。そしてみんながゆとりがあり、やさしい気持ちで暮らせる社会をつくりましょう」とよびかけました。



コロナ禍で困っている人の味方・宇都宮さん

小田川義和全労連議長

小田川義和全労連議長は、全労連などが取り組んだ「コロナ何でも電話相談」に、相談員として宇都宮さんが参加したことを紹介、都民の実態を知っている人こそ、知事にふさわしいと力説しました。コロナ対策で小池知事が今後は「自衛」だとしていることを批判、いま652万人もの休業を強いられている労働者がいることを強調しました。これら困っている労働者、業者などに補償をすすめてゆくことが大切だ指摘し、医療体制の充実と補償の徹底をかかげている宇都宮さんこそいま求められている、と訴えました。



都民に冷たい都政とアベ政治へのきびしい審判を 五十嵐仁法政大名誉教授

五十嵐仁法政大学名誉教授は、小池知事について、“疑惑をごまかし、仮想敵をつくり、その場で受けることを考えているだけで、政治家としてのポリシーはない”と辛らつに批判、いまコロナで“やっている感”を出しているが、コロナ対策も後手後手であり、感染者が増えているのに東京アラート解除など論理的に合わない施策も目立つとのべました。また小池知事を背後で応援しているアベ政治も合わせて問われていると強調し、「都民に冷たい都政とアベ政治へのきびしい審判をくだそう」と力を込めました。

平然と公約を破る人でなく 曾根肇共産党都議団長

これまで都議会で6人の知事と対してきた曾根肇日本共産党都議団団長は、悪政をすすめる知事は多かったが「小池知事はもっとも平然と公約を破り、ウソをつくという点で断トツの知事だった」と実感を込めて紹介しました。福祉、とりわけ高齢者福祉を切り捨ててきた都政を続けている問題、また小池知事がカジノ推進、羽田空港新ルート低空飛行、都立病院・公社病院の質の低下につながる独立法人化に直接の責任をもっていると批判し、都民の命と暮らしを守る宇都宮さんの勝利に全力を尽くすと表明しました。

“小池はダメだ がんばって” “チラシを撒きたいのでください” 通行人

通りかかった都民からは、70歳代男性「年金暮らしで困っている。本当に税金は困っている人に行っているのか。小池と安倍は口ばかり。詭弁にだまされない人をもっと増やさなければいけない」、60歳代男性「小池はダメだ。頑張ってください」との声が寄せられました。また、自宅に山本太郎のポスターを貼っていた50歳代女性は「告示までに宇都宮さんのチラシを一杯配りたいのでほしい」と語り、30枚持って帰りました。ビラの受け取りもよい状況でした。

メッセージ

都知事選予定候補 宇都宮けんじ

皆さん、ご苦労様です。都知事選予定候補者の宇都宮けんじです。

5月25日に都知事選への出馬表明をし、5月27日に都庁記者クラブで出馬表明の記者会見をしたところ、立憲民主党、日本共産党、社民党、新社会党、緑の党や多くの市民団体、労働団体などから支援していただくことになり、大変ありがたく心強く思っています。

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う政府や東京都の自粛・休業要請などにより、仕事を失い、住まいを失い、営業継続が困難になるなどして、多くの都民のいのちと生活が脅かされています。

今回の都知事選は、都民一人ひとりの生存権がかかった選挙であると思います。1400万人の都民のいのちと暮らしを守り抜く都政を確立するため、皆さんと力を合わせて選挙戦勝利に向けて全力で戦い抜く決意です。

カンパの送付先

郵便振替 00150-3-96414

加入者名 東京革新懇